

「認知症の人が徘徊しているのかな?」 と思ったときの…

声かけのしかた

基本は、“3つの「ない」”

- 1 驚かせない
- 2 急がせない
- 3 自尊心を傷つけない



*****最初の声かけ*****

「こんにちは、寒くなりましたね。」

「どこへ行かれますか？」

「私はすぐそこの〇〇ですが、どこからいらっしゃいましたか？」

「お困りではないですか?」「何か、お手伝いしましょうか?」

「ご家族はお出かけされたことをご存知ですか?」

*****具体的な対応方法*****

○良い対応

- ゆっくり近づいて、相手の視野に入ってから目線を合わせて話しかける
- ゆっくりと穏やかな口調で、わかりやすい言葉でひとつずつ話しかける
- 少し歩きながら「少し休んでいかれませんか?」「お茶でもいかがですか?」などと声をかけ、少し座るよう促してみる

×悪い対応

- 後ろから声をかける
- 厳しい顔や困った顔、腕組みや上から見下すような目線
- 数人で取り囲む、急に腕を掴むなど身体に触れる

※声をかけても上手くいかない場合は、いったん離れて間をおく、または近所の人に連絡し、助けを求めましょう。

*****声かけの判断のポイント*****

- あてがないように、とぼとぼ歩いている
- きょろきょろ辺りを見回している
- 寒いのに薄着、あるいは暑いのに厚着をしている
- 同じところを何度も歩いている
- 身なりが整っていない（寝巻き、ボタンの掛け違い、ぼさぼさな髪、不自然な持ちもの）